

「まちづくりシンポジウム」アンケートのコメント

シンポジウムの感想・意見(アンケート自由記入欄より)

1. シンポジウムの構成・進行・資料等

- ・ 倉田先生の話はテンポが少々速すぎたので、今度はゆっくり聞きたい。(女性 70 代、小井川)
- ・ 20 年後の岡谷を考えていくには、20~40 代の方の意見が重要であり、今回のシンポジウムは、そういった若い世代の方に参加を促すことが大切であろうが、その働きかけをどのようにしたのか？(女性 40 代、今井)
- ・ 基調講演は少し詳しくて難しいと感じた。(男性 30 代、西堀)
- ・ 講演は素晴らしかったが、会合の時間がかかり過ぎである。もう少し早めに終わるようにしてほしい。(女性 70 代、今井)
- ・ パネルディスカッションは、多様な分野の多彩な年齢のパネリストの話の中から、まちづくりやその活動の糸口(ヒント)になるキーワードがいくつも出て参考になった。事前にテーマへのアプローチの仕方について、もう少しすり合わせが必要だったか？コーディネーターは大変そうだった。(男性 50 代、今井)
- ・ 倉田先生の話は大変内容が濃く有益だったが、都会や世界での方向性などが参考になった。特にまちづくりのプロセスが市民を作る、ハードからソフトへ、ソーシャルキャピタル等が興味をさそった。内容が豊富で、多少、消化不良の部分があり、もう少し詳しいレジュメが欲しかった。(男性 50 代、市外)
- ・ シンポジウムが不満。市民の声を聞きたい。(70 代、小尾口)
- ・ 4 人のパネリストから、良いアイデアが出た。さらに広く階層を広げて 10 名にしたら、もっと新鮮な意見も出たであろう。50 人委員会などを設置したらアイデアが豊富に出てこよう。(男性 60 代、東堀)
- ・ パネルディスカッションは、もう少し聴きたかった。(男性 30 代、西堀)
- ・ まちづくりに関して、活動団体等、行政、市民の上の方だけでなく、事業者等も加えた皆の意見を聞く機会を作って欲しい。(女性 50 代、茅野市)
- ・ 「まちづくり」として扱う範囲が広すぎる。(テーマを)絞り込んだ方が良い。(今回が)入門編という位置づけなら仕方がないと思う。(男性 50 代、市内)
- ・ 開催時間が長すぎる。(男性 50 代、市内)
- ・ 市民の声、来場者の質問を聞く時間を設けて欲しかった。(男性 50 代、今井)
- ・ 講演時間が長い。今井さんの話に好感が持てた。(女性 60 代、西堀)
- ・ パネリストの選考に問題がある。(男性 60 代、辰野町)
- ・ 講師がしゃべり過ぎて、最後は興醒めである。(60 代、長地)

「まちづくりシンポジウム」アンケートのコメント

2. 基調講演・パネルディスカッションの内容等

(1) 全体

- ・ 大変良いシンポジウムだった。 (男性 40 代、下諏訪町)
- ・ 身近な問題を考えたり、改めて家の周り、地域のことを考えた。まちづくりを考える機会に恵まれた。一市民として素直な気持ちで参加できた。 (女性 70 代、西掘)
- ・ 基盤整備型のまちづくりに偏ったシンポジウムではなく、もっと心豊かに市民憲章実現に向けたソフト面での仕組みづくりの話が聞きたかった。街並みづくりでなく、市民生活の質、安心できる、好きになる街をつくるテーマに絞ってほしかった(街づくりはハードではない時代である) (男性 60 代、塚間町)
- ・ 話の内容が広範すぎて処理できないが、人の絆が大切であると感じた。 (男性 70 代、湊)
- ・ 非常に参考になり、今後の岡谷のまちづくりに生かせれば幸いである。 (男性 70 代、東堀)
- ・ 地域に密着したまちづくりということがよくわかった。 (男性 60 代、小井川)
- ・ まちづくりの必要性を感じながらも具体的な根拠や方向性を見出せずにいたが、今回、聞く事ができた。一市民として自覚し、学習してまちづくりに参加していきたい。 (女性、赤羽)
- ・ とても良い会だった。行政の方向もとてもよい。今後もさらに開催を望む。 (男性 70 代、長地片間町)
- ・ かなり良かった。 (女性 60 代、市内)
- ・ 身近で、もう少し突詰めた話を聞きたかった。 (女性 60 代、西掘)

(2) 基調講演

- ・ 倉田先生の事例を交えた話が参考になった。 (男性 40 代、下諏訪町)
- ・ 基調講演は良かったが、岡谷市にとっては現実離れしている感があった。 (女性 70 代、川岸)
- ・ 倉田先生の話は、わかりやすく事例が豊富で、まちづくりの具体的なイメージがわいてきた。 (男性 60 代、市内)
- ・ 一つのプロジェクトの進行体系のなかで、市民のスキルが再発見され育む場であるということの再認識をした。 (男性 50 代、市外)
- ・ 具体的で良かった。特に茅野市民会館という身近な場所の話に興味があった。岡谷の未来に期待したい。 (女性 70 代、神明町)
- ・ 系統的な内容でまちづくりの大筋がわかった。 (男性 60 代、東堀)
- ・ まちづくりの多くを手掛けてこられた倉田先生の話は、これからの岡谷のまちづくりの進め方を示すものとして、大変参考となるもので、有意義でした。 (男性 70 代、市内)
- ・ 倉田先生の考え方と自分の考え方が同じ方向性だったので、納得して聞く事ができた。 (女性 50 代、岡谷区)
- ・ まちづくりの細かな話を具体的に聞く事ができてよかった。 (女性 70 代、市内)

「まちづくりシンポジウム」アンケートのコメント

- ・ 要は一人一人が自分の住むところに関心を持ち、協力する必要性をしみじみ勉強できた。
(女性 60 代、市内)
- ・ 茅野市民会館の事例は良かった。今後の参考にしたい。
(女性 50 代、川岸三沢)
- ・ まちづくりというハード(建物)面についての議論が多かったが、ソフト面についても、もう少し突っ込んで話して欲しかった。
(女性 70 代、神明町)
- ・ 具体的な岡谷のまちづくりの話が聞きたかった。
(女性 70 代、下浜)
- ・ ハードな部分の話が多かったが、ソフトの部分の話を聞きたい。
(女性 70 代、下浜)

(3) パネルディスカッション

- ・ 中央通りの冷え冷えとした暗い印象ばかりが強く、夢を持たずにいたが、湖畔公園を例にした話を聞いて夢をもてる気がして嬉しくなった。
(女性 60 代、市内)
- ・ パネルディスカッションは、パネリストの活動を通じてのまちづくりへの提案があって参考になった。
(女性 70 代、川岸)
- ・ (講師は)茅野市にかかわったということで、より真剣に聞いた。パネルディスカッションは勉強になった。
(男性 60 代、上浜)

3. 今後、学びたいことや話を聞いてみたい講師等

- ・ 今後、設置される研究会も目指していることが不明確で、参加するか否か迷っている。
(女性 40 代、今井)
- ・ 市民と行政が一体となってまちづくり等を行った事例を知りたい。
(男性 40 代、岡谷区)
- ・ 「10 の戦略」を実践しているのは六本木ヒルズであり、開発者である森ビルの話はヒントとなる。
(男性 40 代、川岸)
- ・ 20 年前から現在までのまちづくりが復習できて良かった。成功事例を学ぶことも大切だが、成功ばかりでなく、失敗事例から学んだ方が、失敗を繰り返さないという意味からも近道では？まちづくりというと、ハードばかりに目が行きがちがあるが、ハードにどんな命を吹き込むか、ヒト、コト、ソフトに目を向けるべき。
(男性 40 代、川岸)
- ・ 先進地の実践者を講師として招き、生きた体験談を語って欲しい。
(男性 70 代、川岸)
- ・ 講師は興味ある話題をふんだんに短時間に説明してくれた。特に、茅野市民会館については、もっと時間が欲しかった。次の機会があれば、茅野市民会館の文化芸術活動を生かす文化やソフトの部分を重点的に聞いてみたい。
(男性 50 代、今井)
- ・ エネルギーの地産地消が岡谷で可能なのか聞きたい。
(男性 60 代、長地)
- ・ 実例を基にした話やまちづくり体験をした計画や取り組みを深く学んでみたい。
(女性 60 代、東掘)
- ・ 宮坂武男氏(元教育委員長)の遺跡の現地調査を通じてのまちづくりに関する考え方を聞いてみたい。
(男性 50 代、市内)

「まちづくりシンポジウム」アンケートのコメント

4.今後のまちづくりに向けた提案・意見等

- ・ 現代の生活に欠かせない車とまちづくりをどのように結びつけて取組むか？
(男性 60 代、市内)
- ・ 諏訪湖をうまく活用したまちづくりが必要。
(男性 60 代、市内)
- ・ 地域の発展は近隣との連携なくしてありえない。
(男性 50 代、市外)
- ・ 国家の経営が行きづまるなか、地域経営の時代が来た。
(男性 50 代、市外)
- ・ 財政問題は、雇用問題であると思う。都会へ行った子ども達が帰って来られる環境作りが必要である。雇用の確保及び起業のできる、起業のしやすいまちが欲しい。
(男性 50 代、市外)
- ・ まちづくりは行政や特定の市民に任せておけば良い時代ではなくなった。一つの方向性を見定めて、それぞれのできる力を集めて「よって、たかって、まちづくり」の時代がきているように思う。
(男性 50 代、市外)
- ・ 茅野市民会館は良い。鉄道アクセスも良い。カノラホールは市外の人から車で来る際にアクセスが悪い。駐車場の動線も悪く、退場の際に混雑が激しい。
(男性 70 代、小井川)
- ・ 工業の街のイメージが強く、商業・観光地という視点が弱い。文化資源・観光資源は沢山あり、商業・観光はサービスという視点で、行政と市民が協働すれば良い街ができる。観光ポイントを結ぶ歩行ルートが整備されれば散策してみたい。
(男性 50 代、塩尻市)
- ・ 中央通り(上のエリア)の再開発が必要。
(男性 70 代、川岸)
- ・ 「道路ができれば町がひらける」と主張して東町線を造ったが、現状では中途半端であり、本当にひらけるのか？
(女性 70 代、長地)
- ・ 諏訪地域全体のテーマを策定する必要がある(共有の資源が多くあるため)
(男性 50 代、松本市)
- ・ 若い人達が多数参加して、未来のまちづくりに夢のあるものにしてほしい。
(女性 70 代、小井川)
- ・ シルク関係の遺産や中山道の道筋など残すべき場所は、しっかりと保護する必要がある。
(女性 70 代、横川)
- ・ 地域の人材を広く登用していくとよい。
(女性 70 代、横川)
- ・ 今日の議論の内容を生かせるようにしてほしい。
(女性 60 代、西堀)
- ・ 岡谷市は箱物にこだわり過ぎである。病院、消防署などの負担が増えるが、市民の価値観の変化に気が付いていない。10~20年位世間から遅れている。
(男性 60 代、塚間町)
- ・ 景観を生かすまちづくりを。
(男性 70 代、長地片間町)
- ・ 都市計画課が建設水道部にあることが理解できない。企画部のブランド推進室でもまちづくりを検討しており、市ではどんな括りでまちづくりを考えているのかわからない。
(女性 40 代、今井)
- ・ 歴史的建造物を評価し、大切にしていける事例に興味を深くもった。武井武雄の生家は失ってしまってからでは取り返しがつかないので、残す方向での思いを強くした。
(女性 60 代、市内)

「まちづくりシンポジウム」アンケートのコメント

- ・ まちづくりプロセスにおける市民参加は、若者の考え方を取り入れ、若者に参加して欲しい。
(女性 60 代、東堀)
- ・ 中央通りの活性化。
(女性 60 代、堀ノ内)
- ・ 文化的なことができる建物や子どもの遊び場の設置。
(女性 60 代、堀ノ内)
- ・ 大規模な開発は不要。今あるものをどう使うか、生かすか？
(男性 40 代、川岸)
- ・ 市民が主役となり、行政は大きな親心で見守り、後押しするという関係が必要。
(男性 40 代、川岸)
- ・ 今まで以上に市民参加が必要である。
(女性 60 代、小井川)
- ・ 道の主役は人間である。
(女性 50 代、岡谷区)
- ・ まちづくりといえば有形なものを連想するが、ソフト面の充実を願う。
(女性 70 代、市内)
- ・ 大変勉強になった。色々な考えを実行するか、しないかだと思う。
(男性 30 代、小尾口)
- ・ 中央通りを週末通行止めにして、人の集まる場所にしてみたら良い気がした。
(男性 30 代、小尾口)
- ・ 地域的には「自然を生かしたまちづくり」。
(男性 60 代、上浜)
- ・ 市民参加のまちづくりは、様々な世代が関わっていく必要を感じた。しかし、その中で適切なマネジメントの存在が欠かせないと感じた。
(女性 70 代、中村)
- ・ まちづくりの基本構想策定時には、もっと市民の声を聞くべき。団体代表だけでなく、やる気のある一般市民、子ども達の声などを聞くべき。
(男性 50 代、今井)
- ・ シンポジウムの次の段階で何をするか？どんな行動をするかが重要である。その点を大いに期待している。
(男性 60 代、横川)
- ・ 湖畔を魅力ある公園等に変える提案を求める全国コンペティションを行う(現在も良い公園ではあるが、さらに良くするために)
(男性 60 代、長地)
- ・ 子どもが増える施策を行って欲しい。
(男性 60 代、長地)
- ・ 街並み、道路、川、山などジャンル別に検討会を行えば面白いと思う。
(男性 60 代、岡谷区)
- ・ 本町、銀座、今井新道等を明るくするまちづくりが必要。高齢者が徒歩でも行けるような大型店ではない気楽な店づくりが必要。
(女性 70 代、東堀)
- ・ 市民劇場等の演劇に対する行政の協力が必要。観劇したくても遠方には出かけられない人達のため行政の支援が必要。
(女性 70 代、東堀)
- ・ 高齢者が安心して街の中で楽しく過ごせるまちづくりを願う。
(女性 70 代、東堀)
- ・ 岡谷のまちづくりの可能性について、今迄の景観創出という面で、シャッター通り等に失望感を持ち続けていたが、今回の講演で、まちづくりにおける協調行動、市民参加、パートナーシップ、エリアマネジメント等の発想による街創造の大切さと可能性を強く感じた。
(男性 70 代、東堀)
- ・ 残しておくべき景観を一刻も早く指定して保全しておかねばならない。
(60 代、長地)
- ・ 交通弱者の問題や地域の人々の交流の場づくりの問題等を中心に各地区で話し合いの機会を多くし、地域住民の具体的交流を広げて欲しい。
(男性 70 代、今井)